

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立倉敷中央高等学校		
実践者等	藤田昌子	実践日	令和3年11月25日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	人体と看護		
対象生徒(学年等)	2年看護科		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	食生活と健康		
使用したアプリ等	Classroom		
実践の概要(ねらい等)	Classroomを活用した課題発表		
実践の内容			
<p>(1) 前時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 5大栄養素について学習内容を確認 <p>(2) 本時の内容(食事内容の検討)を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> Classroomで提出させている課題(ある日の食事の内容を写真で撮影し、日々の食生活が健康に与える影響について分析)をグループ内で発表。 <p>(3) 発表をとおして、栄養の視点から健康の保持増進に向けて良い点と改善点を協議</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料(課題)をClassroomでグループメンバーに配信。 栄養の視点から良い点と改善点を前時までの知識を活用しながらグループで話し合う。 資料(課題)は共有をかけ、良い点や改善点については入力する。 <p>(4) グループで協議した結果を全体で発表</p> <ul style="list-style-type: none"> Chromebookの画面を中央ホワイトボードに映し全体に発表し共有する。 発表内容から既習知識の正しい活用ができていることを確認し、食生活が健康に与える影響について気付かせる。 <p>(5) 自分たちの食生活について再考</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員がまとめを行い、次回からは、疾病や障害によってエネルギーや栄養素の調節が必要な場合の栄養について事例をもとに考えることを伝え、事例を「Classroom」で配信する。 			
参考となるHP等			

